

# Eastspring Asia Now

Vol.35 2018年7月のインドなう！

eastspring  
investments

## インドのモンスーン国会、GSTの税率変更、企業の四半期決算

### インドのモンスーン国会がスタート

- ▶ インドの国会会期は年に3回あり、7月から8月にわたって開催される国会は、この時期の天候から「モンスーン国会」と呼ばれています。今年7月18日（水）から8月10日（金）までとなっており、新たに複数の法案の審議が行われています。
- ▶ 今回のモンスーン国会では開会早々に野党からモディ政権に対する不信任動議が提出されました。これを受けて、株式市場が一時下落する局面もありましたが、結果は反対票が約4分の3を占め、現政権への信任が再確認されることとなりました。

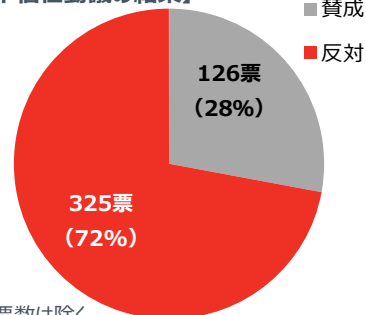
### 50以上の品目でGSTの税率引き下げ

- ▶ 物品・サービス税（GST）の適用範囲や税率などを協議する第28回GST審議会が7月21日に開催され、50品目以上のGST税率が引き下げられました。
- ▶ 7月27日以降の適用税率の引き下げ対象となった品目には、今まで最高税率の28%が適用されていた家電などの耐久消費財などが含まれています。これらの品目の多くが18%に引き下げられたほか、生理用品や乳児用の強化ミルクなどの日用品についてはGSTが撤廃されたため、消費の下支え効果が期待されます。

### 企業の四半期決算発表が本格化

- ▶ 7月中旬から4-6月期の企業決算が相次いで発表されています。銀行セクターは、不良債権処理のための引き当てが重石となり、業績が市場予想を下回る企業も見受けられましたが、不良債権処理が着実に進むとの見方などから、株価は堅調に推移しました。
- ▶ IT関連セクターは、大手各社が増収増益となりました。特にAIやデータ分析などのデジタル分野が好調でした。IT大手の好決算は、株式市場全体の期待感へとつながりました。また、統合などの業界再編が進む通信セクター各社は価格競争が激化しており、低価格攻勢で契約者数を伸ばした企業以外の大手3社は、前年同期比で減収となりました。
- ▶ 4-6月期決算の内容は、総じて堅調な結果となっています。7月に、インドの主要な株式指数は過去最高値を更新しています。

【モディ政権不信任動議の結果】



※棄権者の票数は除く。

出所：各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

【主なGST減税対象品目】

GST税率	品目
18%	冷蔵庫・洗濯機・掃除機などの耐久消費財、リチウムイオン電池ほか
0%	生理用品、乳児用ミルクほか

出所：各種報道に基づきイーストスプリング・インベストメンツ作成。

### 【コラム】交通ルールを守りましょう

インドでは、交通ルールに対する意識の低さが渋滞を深刻化させる一因となっています。

政府はこれを問題視し、道路脇に監視カメラを設置して罰金を徴収したり、違反履歴の管理を行ったりしています。最近では、交通ルールを遵守させるために、右のような啓発アプリも配信されています。



※当資料はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社が情報提供を目的として作成したものであり、特定の金融商品等の勧誘・販売を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料でもありません。※当資料は信頼できると判断された情報等をもとに作成していますが、必ずしも正確性、完全性を保証するものではありません。※当資料には、現在の見解および予想に基づく将来の見通しが含まれることがありますが、事前の通知なくこれらを変更したり修正したりすることがあります。また、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。\*2018年、アジア・インベスター・アセット・マネジメント・アワード。過去の運用成果は、将来の運用成果や市場環境の変動等を保証するものではありません。

イーストスプリング・インベストメンツ株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第379号 / 加入協会 一般社団法人投資信託協会、一般社団法人日本投資顧問業協会



アジア・ファンド・ハウス・オブ・ザ・イヤー受賞\*  
イーストスプリング、アジアにおける最優秀運用会社に！3度目の受賞

180801 (03)

英国ブルーデンシャル社はイーストスプリング・インベストメンツ株式会社の最終親会社です。最終親会社およびそのグループ会社は主に米国で事業を展開しているブルーデンシャル・ファイナンシャル社とは関係がありません。

英国ブルーデンシャル・グループ